

平成25年度保健福祉局運営の総括表

基本方針・重点方針	平成25年度重点取組					
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
1 「いのち」 すべての市民の皆様のかげがえのない「いのち」を守ります。	1 子ども保健医療相談・事故防止センター運営の充実	プレママ・パパ教室の実施	—	セーフティハウスの見学、参加者同士の交流会、小児科医等による相談等を実施		保健衛生推進室 保健医療課
	2 京都動物愛護センター（仮称）整備事業	平成25年度着工	京都市動物愛護センター（仮称）構想	京都動物愛護センター（仮称）公園部分整備工事着手（1月）		
	3 京都動物愛護センター（仮称）プレ事業	府市共同でボランティアの育成やセンターの愛称募集等を実施		・京都動物愛護センター（仮称）の愛称公募「動物愛ランド・京都」（募集7月、決定9月） ・京都動物愛護センター（仮称）のマスコットキャラクター公募（募集7月、決定9月） ・京都動物愛護センター（仮称）のボランティアスタッフの募集及び養成（募集9月～10月、養成講座12月～3月）		
2 「はぐくみ」 「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念が息つき、子どもを安心して生み、楽しく育てることができるまちづくりを進めます。	1 「子ども・子育て支援新制度」実施に向けた取組	「京都市子ども・子育て会議（仮称）」を設置し、市民ニーズ調査等を実施しながら、計画策定の議論を開始	—	・「京都市子ども・子育て会議」を2回、同会議の部会を9回開催 ・母子保健計画策定に向けた母子保健及び思春期に関する意識調査の実施（8～9月） ・事業計画策定の基礎資料とするため、子育て支援に関する市民ニーズ調査等の実施（10～11月）		子育て支援部 児童家庭課
	2 保育所整備助成事業	新設4箇所、老朽改築及び耐震化2箇所、耐震改修1箇所の計7箇所を整備	京都市未来子どもプラン	新設4箇所、老朽改築及び定員増8箇所、分園1箇所、認定こども園新設1箇所、計14箇所を整備		子育て支援部 保育課
	3 障害児保育の充実	心理士等の巡回により、さらに実態に即した保育士加配の実施		民間保育所及び昼間里親等において、従来の書類審査に加え、心理士等の専門職が巡回訪問し、行動観察を行ったうえで障害児判定を実施		
	4 多様な保育サービスの充実	延長保育・一時保育・病児保育実施箇所の拡大		・延長保育4箇所、一時保育2箇所増加 ・病児病後児保育（病児保育（病後児併設型）実施2箇所→3箇所） （病後児保育のみ実施 4箇所→3箇所）		
	5 子ども医療費支給事業の充実	平成25年9月～ 通院医療費の現物給付化	—	平成25年9月から、3歳から小学校6年生までの通院医療費の支給方法について、自己負担額を1医療機関当たり1箇所3,000円までとする現物給付を実施		生活福祉部 地域福祉課
	6 ひとり親家庭等医療費支給事業の充実	平成25年8月～ 父子家庭への対象拡大	—	平成25年8月から対象を父子家庭にも拡大し、名称を「ひとり親家庭等医療費支給制度」に変更		
3 「くらし」 子どもから高齢の方まで、障害のある方もない方も、いきいきと暮らすことができるまちづくりを進めます。	1 生活介護事業所等整備助成	3事業所竣工	支えあうまち・京都はほえみプラン	生活介護事業所新設2箇所、共同生活援助事業所新設1箇所への整備助成を実施		障害保健福祉推進室
	2 基幹相談支援センターの設置	市内5箇所に設置		・障害者等に対する相談支援や地域の指定相談支援事業所等への助言・指導等を総合的に行う中核的機関として、5箇所設置 ・全市を範囲として、各基幹相談支援センターが相談支援専門員等に対する研修を年に1回実施 ・圏域を範囲として、各基幹相談支援センターが権利擁護の啓発・促進、障害理解の普及・啓発活動に向けた研修を実施		
	3 介護基盤等整備	・特別養護老人ホーム5,420人分 ・認知症高齢者グループホーム1,410人分	第5期京都市民長寿すこやかプラン	・特別養護老人ホーム5,291人分 ・認知症高齢者グループホーム1,356人分		長寿社会部 介護保険課
	4 中央斎場再整備事業	基本・実施設計	—	収骨室及びレストランの基本設計・耐震診断調査及び耐震補強設計（概略）		保健衛生推進室 生活衛生課
4 「地域力」 保健・医療・福祉が連携し、地域で支え合うまちづくりを進めます。	1 ～地域で気づき・つながり・支える～認知症総合支援事業	保健・医療・介護が一体となった認知症対策の推進	第5期京都市民長寿すこやかプラン	・『認知症？「気づいて相談！」チェックシート』の作成 ・認知症相談支援ガイドブックの作成 ・認知症対応地域支援推進モデル事業を6箇所実施 ・認知症に係る市民啓発（市民しんぶん読み込み記事等）を実施 ・認知症ライフサポート研修を実施 ・若年性認知症窓口案内ガイドの作成		長寿社会部 長寿福祉課
	2 京都市民健康づくりプラン（第2次）の推進	市民参加型シンポジウムの開催をはじめとした健康づくり運動の一層の普及	京都市民健康づくりプラン（第2次）	市民参加型シンポジウムの開催をはじめとした健康づくり運動の一層の普及		保健衛生推進室 保健医療課
	3 京・地域福祉推進指針の改定	地域福祉を取巻く状況の変化に対応するため改定	京・地域福祉推進指針	「京（みやこ）・地域福祉推進指針2014」を策定		生活福祉部 地域福祉課
5 「安心・安全」 いのちとくらしを守るセーフティ・ネットをしっかりと構築します。	1 生活保護受給者に対する自立支援の充実	「チャレンジ就労体験事業」の実施や「就労意欲喚起等支援事業」の充実等により、支援メニューを多様化	—	・「生活保護就労意欲喚起等支援事業」の日数拡充（週延べ77日→90日） ・「生活保護心理ケア相談支援モデル事業」の支援員拡充（1福祉事務所→4福祉事務所に配置） ・「チャレンジ就労体験事業」の実施		生活福祉部 地域福祉課
	2 民間社会福祉施設の耐震化の取組	保育所をはじめとする民間社会福祉施設の耐震化を促進	—	・民間社会福祉施設への耐震アドバイザー派遣事業の実施 ・耐震診断助成事業の対象拡充等 ・「京都市民営保育園耐震化計画」の策定		保健福祉部 保健福祉総務課 子育て支援部 保育課
6 「信頼」 不正を許さず、市民の皆様信頼される制度運営を推進し、真の安心に繋がります。	1 適正給付推進課の取組	生活保護をはじめとする社会保障給付の更なる適正化の推進	—	・生活保護不正受給事案の告発11件、逮捕11件 ・不正請求等を行う指定医療機関の指定取消1件		保健福祉部 適正給付推進課
	2 生活保護適正化推進事業	適正化推進支援員の増員（7名→10名）による不正案件の対応を徹底	—	平成25年度通報271件 ・調査終了228件 うち改善60件 うち問題なし168件 ・調査継続中43件 ※調査結果は平成26年7月末時点件数		
7 「改革と創造」 保健福祉行政を取り巻く環境の変化に対応し、施策の「改革」と新たな展開の「創造」を推進します。	1 ははたけ未来へ！京プラン実施計画の着実な推進	引き続き、計画に掲げた改革の取組の推進	—	改革編に掲げた取組に着手又は実施		保健福祉局 各担当課